

分野

V 教育・子育て

分野内の整理

1. 子どもたちの絆について

1. これまでの取組みと成果の概要（現状）

- ・児童生徒や学校の状況等の情報を「学校便り」として各校で年間約8回発行。
- ・未再開校では、各校年に1～3回児童生徒や保護者、教職員の懇親会を実施。
- ・震災当時町民だった方へ成人式の通知を送付。避難先の成人式に出席するか、浪江町の成人式に出席するかは、個人の判断。
- ・各小中学校の校歌と校舎写真をインターネットで配信。
- ・人事異動により、震災当時の担任の先生が替わっている。現在の担任が対応できていないような場合は、当時の担任に対応してもらっている。

2. 部会での議論の概要（課題）

- ・子どもたちが避難先で新たな人間関係を築いているため、再会の場の参加者が激減している。
- ・震災当時の先生が児童生徒たちのケアを無理なくできるような仕組みづくりが必要。また、その仕組みをいつまで継続するべきかについても考えていかなければいけない。
- ・成人式の案内は浪江と避難先の両方から送付してほしい。

3. 部会からの提言（課題解決のための提言）

- ①再会の場については、今後も参加者数を維持していくよう努めること。
- ②震災当時の教員が児童生徒のケアを行う仕組みや今後の継続について検討を行うこと。また、町も児童生徒やその保護者への心のケアを実施すること。
- ③成人式の案内については、避難先自治体の成人式にも参加が可能であることを周知すること。

4. 目的達成のための手法案（課題解決のための具体的なアイデアの提案）

- ①再会の場づくり
 - ・参加者数を維持するための取組みを継続
- ②震災当時の教員による児童生徒のケア
 - ・震災当時の教員が児童生徒のケアを業務として行う仕組みの構築
 - ・震災当時の教員が児童生徒のケアをいつまでおこなうかについての検討
- ③避難先自治体の成人式
 - ・町から成人式の対象者に案内を送付する際に、避難先自治体の成人式に参加することが可能であることを記載する